

## 下妻第一高校 「医学部進学支援特別講座① 小論文特別演習」

(為櫻学園「光プロジェクト」)

○第1回 令和元年9月27日(金) 16:00~17:30

○第2回 10月21日(月) 16:00~17:30

【講師】：北村 暁 (きたむらさとし) 先生 (富士学院)

◇ 場所：為櫻学習館2階講義室  参加生徒：21名(3年11名 2年10名)

📌 今回の小論文講座は、基本的に「医学部医学科」志望者対象で、しかも時期を空けて2回にわたって実施しました。参加生徒が第1回で作成した小論文を、講師の北村先生が持ち帰って添削してくださり、その結果を受けて2回目に臨む…という形式をとったからです(初の試みです)。

講師の北村先生は、以前「国語学習方法講演会」で来校されたことがある方です。高度な内容を鮮やかに「腑分け」して、ポイントをわかりやすく提示・説明してくださる先生の講義には、いつでも「なるほど」が満ちているのですが、それは小論文においても同様でした。

一人一人の添削結果を分析し、本校生にとっての全体的な課題や修正すべきポイントを的確に指摘してくださり、生徒にとってはたいへん多い機会となったはずです。とりわけ、入試本番で小論文試験を控えている3年生は、今回数多くのテクニックや作成のコツを伝授していただいたのではないのでしょうか。

北村先生、そしてこの講座を手配してくださった富士学院の奥山洋史様(東京御茶ノ水校校舎長)に、心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

### <参加生徒によるアンケート結果>

(1) 「小論文特別演習」はわかりやすかったですか。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 たいへんわかりやすかった…14名 | 2 わかりやすかった…6名     |
| 3 どちらともいえない…0名     | 4 なかなか理解できなかった…0名 |

(2) 小論文特別演習は、あなたにとって意義あるものとなりましたか。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 たいへん意義があった…15名 | 2 意義があった…5名     |
| 3 どちらともいえない…0名   | 4 あまり意味がなかった…0名 |

(3) この事業についての感想・意見を自由に書いてください。

○ もともと作文を書くのが好きだったので、楽しかったです。医療関係だったら気をつける（意識する）ことを知ることができてよかったです。

また、表現に関しては特にためになりました。参加してよかったですと思います。（2年）

○ 医学系の小論文の書き方や、構成のつくり方などを理解することができました。添削の結果なども分かりやすく書いてくださったので、次回につなげていきたいと思います。（2年）

○ はじめは、いきなり本格的な小論文が書けるのかとても不安でしたが、先生の説明がとても分かりやすく、細かい説明も聞くことができて、自分が思っていたよりは小論文が書けたと思います。

2回目の講座も特に注意することなどの解説が分かりやすく、とても自分のためになりました。この小論文特別講座に参加してよかったです。（2年）

○ 今まで受けてきた小論文講演会とはまったく違う印象を受けた。特に、小論文の書き方や使わない方がよいワードなどの説明は、それまで私が実際に使っていたり使った方がよいと思っていたワードも含まれていたのも、とてもためになった。

受験で使う小論文だけでなく、大学に進んだ後で書く論文にも使えるような内容だと感じたため、教わったことを頭に入れて、今後に生かしていきたいと思った。（3年）

○ 小論文を書くときのポイントや、医療系の小論文ではどのようなことが求められるのかなど、たいへん分かりやすく教えていただきました。また、実際に小論文を書いてみて、自分に何が足りないのかを把握できたのもよかったですと思います。（3年）

○ 短い時間で沢山のことを教えていただけて、入試の時に最大限に生かそうと思った。（3年）

○ 小論文について詳しく学ぶ機会がなかったので、とても意義のある講座でした。表現や構成、また近年の傾向についても触れられていたので、試験の本番までに小論文を書く能力を身につけられるように、学んだことを生かしながら勉強していきたいです。（3年）

